

4～5月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

101,580円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代他)	18,216円
交通費(駐車場、燃料代)	7,824円
通信費(折込代、携帯電話代)	75,540円
支出計 20/4/1～20/5/31	101,580円

市政を考える 月刊武松

発行日
20/6/1

第189号

21600部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

新型コロナウイルス感染症対策

4/10、4/30に専決処分 5月臨時会で6億2344万円補正

新型コロナウイルス感染症対策で市が実施したものをまとめます。なお基金への積立など予算枠の確保等は、省略します。

※専決処分：本来、議会の議決・決定を経なければならない事柄について、市長が地方自治法に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること。

■ 4月10日専決処分

感染症対策

- ・次亜塩素酸水生成装置他 2000万円
次亜塩素酸水：市内5ヶ所で市民に配布。学校、公共施設、保育所、介護サービス事業者へ提供。
次亜塩素酸水生成装置：市立全小中学校へ設置
防護資材：市施設、介護サービス事業所へ配布
衛生資材：医療的ケアが必要な障がい児者へ配布

緊急経済対策

- ・中小企業事業者等支援金 2億0000万円
県休業要請事業種へ、一律20万円交付
- ・信用保証料等補助金 3000万円
- ・特別利子補給金 5000万円
- ・特別融資預託金 2億0000万円

■ 4月30日専決処分

給付金

- ・特別定額給付金 191億7572万円
4/27市内住基台帳記載者に10万円/人 国10割
5/11からオンライン受付
5/29から関係書類郵送 受付は9月1日まで
- ・ひとり親家庭等への特別定額給付金 6772万円
児童扶養手当受給者 5万円/人 6/3給付

感染症対策

- ・おだわら予約制PCRセンター設置費他 1916万円
県市連携のもと小田原医師会が設置し、かかりつけ医が必要と認めた予約者のみをドライブスルー方式で検査する。設置場所は非公表。

- ・マスク・防護服・次亜塩素酸水消耗品費他

3536万円

緊急経済対策

- ・雇用調整助成金申請支援金 1000万円
- ・中小企業事業者融資等相談員の雇用 148万円
- ・商業者事業継続等支援補助金 2000万円

■ 5月臨時会補正予算

- ・風水害等避難場所用備蓄品購入費 1633万円
マスク、消毒液、隔離用テント等
- ・子育て世代への臨時特別給付金等 2億0711万円
児童手当受給世帯に対し、1児童につき1万円上乗せ支給
- ・中小企業者等事業者支援金の増額 4億0000万円
県休業要請事業種以外の業種が対象
医療施設、生活必需品物販施設、住宅・宿泊施設
交通機関、工場、金融機関、社会福祉施設等
売上前年同月比 50%以上減 20万円交付
20-49%減 10万円交付
2500社分を計上しているが、超過分は適宜対応

会派の変更と期末手当減額

5月17日に行われた小田原市長選挙において守屋輝彦市長が誕生しました。その後、会派打合せを開催したところ「志民の会」から、木村正彦議員と川久保昌彦議員が脱会することとなりました。脱会理由は特に聞いていません。

その後、無会派だった日本維新の会の杉山三郎議員が、会派に合流することとなり、武松忠、安野裕子議員、鈴木美伸議員、鈴木敦子議員、杉山三郎議員の5名で「志民・維新の会」（安野裕子代表）を結成することになりました。

- ・議員期末手当の減額
市議会議員の6月期末手当を減額する
議員10%、副議長15%、議長25% -368万円
- ・議会一部委員会行政視察中止 -132万円

県西新型コロナウイルス感染状況

緊急事態宣言が解除されましたが、マスク・手洗い・顔触れない・人間距離を続けましょう。

5/28現在の県西2市8町における感染者についてグラフ化しました。図1市町別、図2年代性別、図3職業別、図4症状別、図5感染経路を示します。

図1 市町別感染者数 2市8町

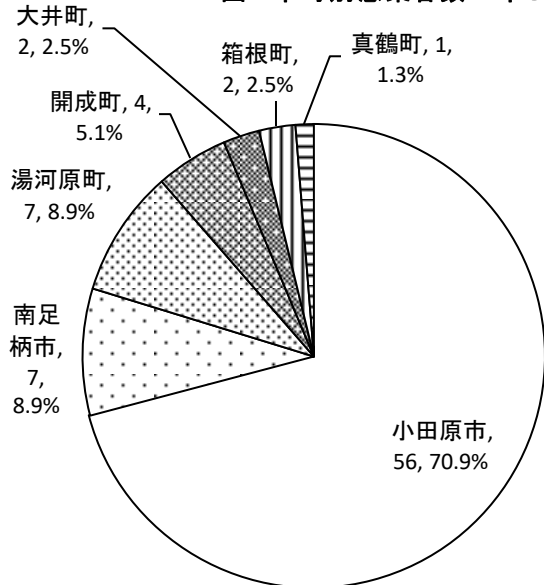


図3 職業別感染者数 2市8町 陽性判明時

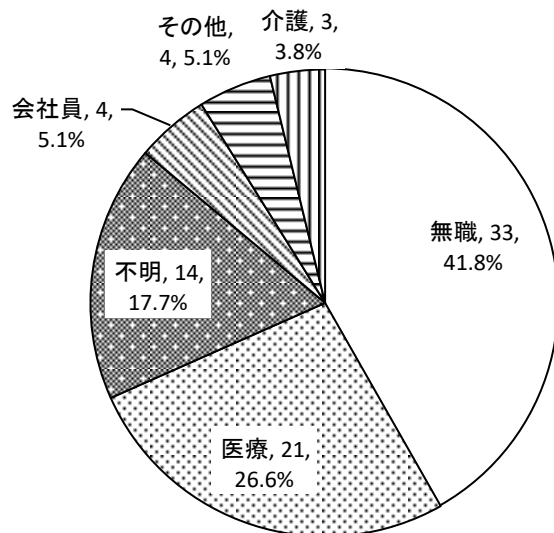


図4 症状別感染者数 2市8町 陽性判明時

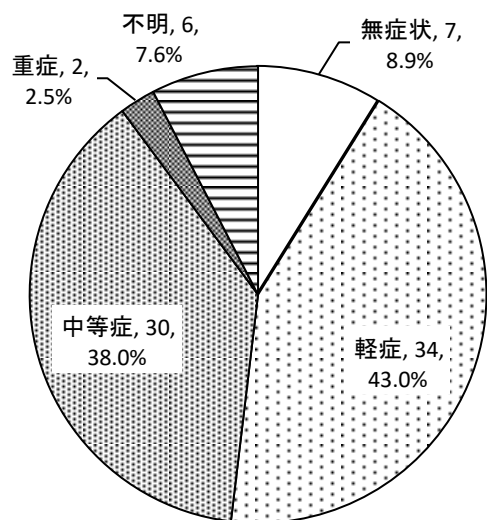


図2 年代性別感染者数 2市8町

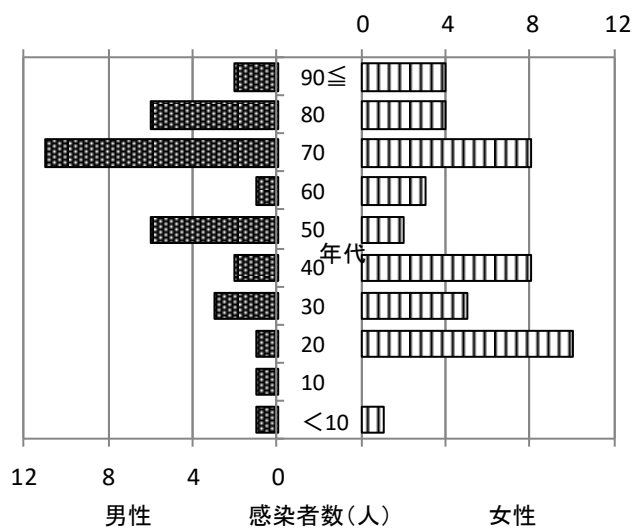
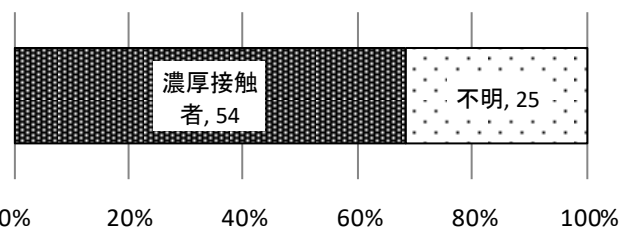


図5 感染経路別感染者数 2市8町



新型コロナウイルス感染症対策のため
6月の議会報告会は中止します。



公式HP
月刊武松パワパワ-他



twitter
防災・感染症情報



facebook



2020年度
予算概要



▲北條五代祭りにて